

がん対策推進基本計画に基づく新たながん研究戦略

新たな「がん研究戦略」は、がん対策基本法、がん対策推進基本計画を踏まえ、日本全体で進めるがん研究の今後のあるべき方向性と具体的な研究事項等を明らかにし、がん対策の基礎となる研究の推進を一層加速させることにより、がん対策推進基本計画で掲げられた全体目標の達成に資する必要がある。

第4期がん対策推進基本計画 全体目標

誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。

がん予防

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

がん医療

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

がんとの共生

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

今後推進すべきがん研究（具体的な研究事項）

「誰一人取り残さないがん対策」を実現するための国家的基盤となるがん研究戦略の構築・強力な推進体制が必要

（1）「がんの予防」に関する研究

- (1-1) 新たなリスク要因の同定やリスク層別化に基づく1次予防の推進
- (1-2) 高リスク層の同定や新たな早期発見手法の活用による2次予防の推進

（2）「がんの診断・治療」に関する研究

- (2-1) 個別化医療を更に推進する診断技術の開発
- (2-2) 新規薬剤・治療法の開発
- (2-3) 幅広い患者ニーズに応じた新たな標準治療の確立

（3）「がんとの共生」に資する研究

- (3-1) 誰もがアクセス可能な相談支援・情報提供
- (3-2) 充実したサバイバーシップの実現

（4）ライフステージやがんの特性に着目した研究

- (4-1) 希少がん及び難治性がん
- (4-2) 小児がん及びAYA世代のがん
- (4-3) 高齢者のがん

（5）がんの予防、がんの診断・治療の開発、がんとの共生を促進するための分野横断的な研究

- (5-1) がんの本態解明
- (5-2) シーズ探索・育成
- (5-3) バイオバンク・データベースの整備と利活用促進
- (5-4) 先端的な科学技術の活用や異分野融合
- (5-5) 政策的な課題の把握と解決

研究の効果的な推進のための環境整備

- ✓ **国際連携** 国際共同臨床試験の環境整備、海外データベースとの連携とその活用等
- ✓ **人材育成** 幅広い分野の知識を身に付けたがん研究に関わる人材の育成、若手・女性研究者や博士号取得者の活躍の場の拡大等
- ✓ **患者・市民参画** 他疾患や他領域の視点も広く交えた主体的な参画の推進等